

事務事業評価資料

施策名	観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光振興室					
事業名	観光地活性化・旅行商品造成支援事業		担当者電話番号	ツーリズム係 078-362-3317					
事業目的	地域が一体的にテーマ性をもって取り組む先導的な活性化事業を支援することで、地域の魅力づくりと着地型旅行商品の造成を促進し、国内外からの誘客、交流人口の拡大につなげる。								
事業内容	(1) 事業補助 補助対象者：観光協会、NPO法人等、補助対象経費：地域の魅力づくりのための先導的活性化事業経費、補助件数：5件、補助率：1/2以内、補助上限額：3,000千円/年 (2) 地域と旅行会社との交流・商談の場の設定		事業開始年度	平成18年度					
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(38,932 千円) 38,932 千円		(24,286 千円) 24,286 千円		(16,547 千円) 16,547 千円			
	人件費	3,565 千円	従事人員 0.4人	3,388 千円	従事人員 0.4人	2,508 千円 従事人員 0.3人			
	総コスト (+)	42,497 千円	従事人員 0.4人	27,674 千円	従事人員 0.4人	19,055 千円 従事人員 0.3人			
事業の目標	県外からの観光客入込数の確保			[目標設定理由] ・事業実施により県外からの観光客誘致を図るため、国内外からの観光客入込数確保を目標とする。 ・目標値は、ひょうごツーリズムビジョン後期行動プログラムにそって、H22に150万人を目指す。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率 (%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	観光客入込数(百万人)	150	H22年度	132 (322 千円)	-	-	88%	-	-
評価結果	必要性	・人口減少社会に直面する中、地域活性化を図るためには、ツーリズムの推進による交流人口の増加が必要である。 ・そのためには、観光ツーリズム振興に向けて地域ぐるみで意欲的に取り組む必要があるが、地域単独の取り組みでは限界がある。 ・このため、公共で支援することことで、地域ぐるみでの取り組みを促進させる必要がある。							
	有効性	・観光客入込数の20年度見込みが不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、各地域で意欲的な取り組みが行われており、成果はあがりつつある。							
	効率性	・指標1単位あたりのコストは、観光客入込数の20年度見込みが不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、効率的な執行を図った結果、事業費抑制が図られている。							
	民間・市町との役割分担	・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があり、民間の活力・地域の主体性を最大限に活用できるツーリズム協会が事業を実施している。 ・なお、他地域への波及効果もある先導的な取り組みに対する支援であることから、県で実施するのが適当である。							
受益と負担の適正化	・交流人口の拡大による地域の活性化に資する事業であり、地域にとっても効果が見えることから、補助率1/2としている。								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	「ひょうご」の観光地活性化支援事業と「体験観光」推進団体育成助成事業を統合し、ツーリズムに関する専門的知識と豊かな経験を有するツーリズム協会が、特定のテーマに基づき新たな地域の魅力づくりとそれらを生かした旅行商品化に取り組む事業を支援することで、交流人口の更なる拡大を図る。								